

# 令和5年度 学校教育の努力点とその推進計画

## 研究主題

一人一人の「学びたい！」を叶える授業を目指して  
～ JJT（神宮寺自由進度タイム）を取り入れることを通して～

### 1 研究のねらい

本校では、児童の「学びたい！」という思いを引き出す方法や、その思いを基に、主体的に追究できるような授業展開を模索し、授業実践を重ねてきた。特に、昨年度においては、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を意識したタブレット端末を活用した授業の在り方を明らかにすることができ、一定の成果を得ることができた。

しかし、実践を振り返ると、一人一人の興味・関心や学習ペース、習熟度が異なることが原因で、児童一人一人の「学びたい！」を実現するまでには至らなかった。実際に、児童から、「違う方法から調べてみたいのになあ」「僕は、こっちの方が興味あるのになあ」「自分のペースで取り組めればいいのになあ」といった言葉が聞かれることがあった。つまり、一斉授業だけでは、児童一人一人の「学びたい！」という思いを実現することは難しく、「個別最適な学び」の観点で、もう一步踏み込んだ授業づくりを行う必要があるのである。

そこで、研究1年次である今年度は、R3・4年度センター研究の「自由進度学習」に着目し、本校児童の実態を踏まえてアレンジした「JJT(神宮寺自由進度タイム)」を、学習内容の定着に効果的だと考えられる単元の一部に取り入れる。そうすることで、一人一人が興味・関心や学習ペース、習熟度に応じて学ぶべきことを捉え、その達成に向けて、自分が計画した学習の方法やペースで学ぶ児童が育つことを目標として設定する。

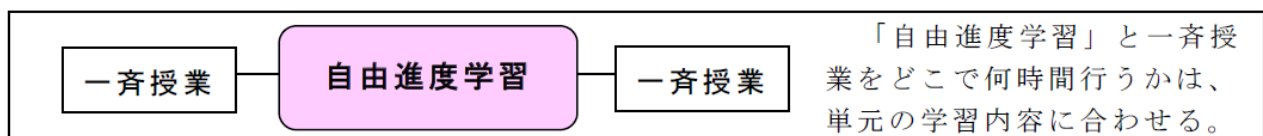
さらに、「JJT」を繰り返し経験した児童は、学習の進め方を考えて取り組み、その中で学ぶ楽しさや充実感・達成感を味わうことにより、将来にわたり、自立して学び続ける児童を育成できるものとする。これを最上位目標として設定する。

また、自由進度学習では、児童一人一人が主体である。そのため、いかに児童が自走して学び、教師が学びの伴走者となれるかが鍵となる。本研究を通して、授業における役割について、教職員同士で意見交流することで、教師観のアップデートを図っていきたいと考える。

### 2 研究の内容

(1) 「自由進度学習」とは（R3・4年度センター研究より引用）

「自由進度学習」は、子どもたちの興味・関心や、学習のペース、習熟度等に応じて、子どもたちが自分に必要な課題や学習活動を選択して取り組むことができる学習と定義する。「自由進度学習」では、子ども一人一人が学習計画を立て、それに沿って、個別に、時には協働しながら学習を進めていく。



【1単元の流れ（例）】

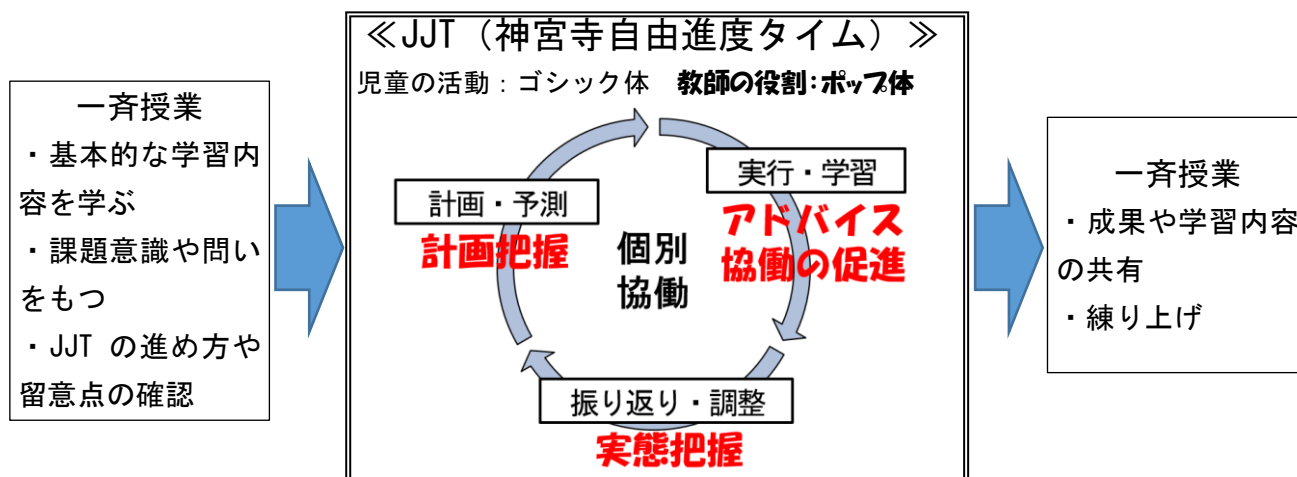
(2) 「自由進度学習」の型（R3・4年度センター研究より引用）

センター研究では、子どもたちの何に対応し、子どもが何を選擇できるようにするかという観点で、次の三つの型を提案している。

- 課題選擇型……興味・関心や自身の立てた問いなどに対応し、課題を選擇
- 時間設定型……学習のペースに対応し、それぞれの学習活動に掛ける時間を設定
- 目標設定型……習熟度に対応し、学習に取り組む目標を設定

(3) 「JJT」を取り入れた学習のイメージ

今年度は、JJT 導入1年目であるため、センター研究での実践例の多い「課題選擇型」に絞って、様々な教科・領域において実践を進めることにする。



【JJT を取り入れた学習のイメージ】

(4) JJTを取り入れた実践を行うために（センター研究の実践例を参考にするとよい）

- ① ゴールを決める（単元を見通す）  
→ 実践単元において、どのような資質・能力を育成するのか明確にする。
- ② JJTの内容を考える  
→ 「課題選擇型」の選択肢を考える（工夫ポイント）。  
→ 計画・振り返りシートを考える（工夫ポイント）。
- ③ スタートを考える  
→ 「やりたい」「解決したい」という課題意識をもつことができる工夫を考える（工夫ポイント）。

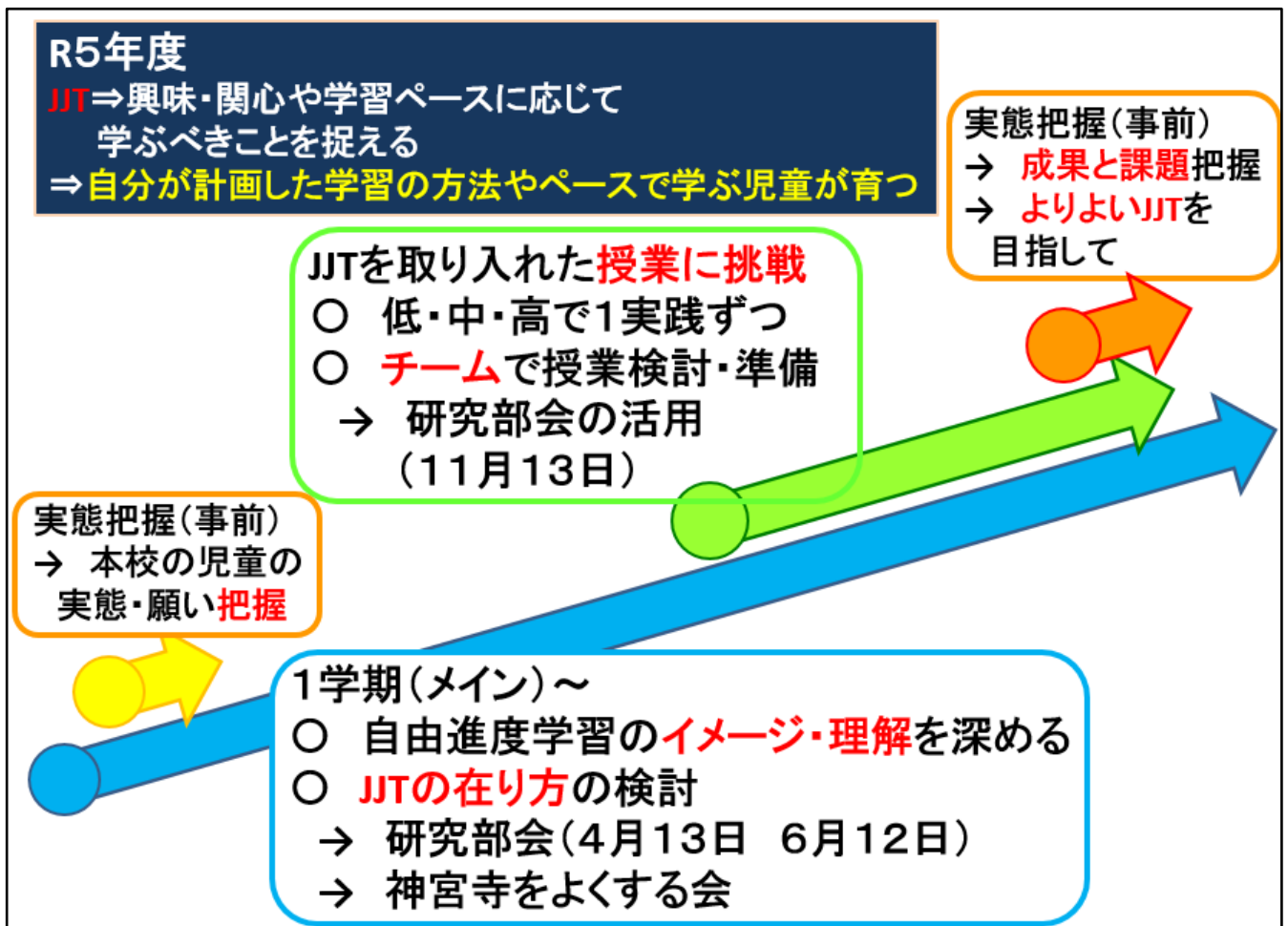
(5) 検証の方法

実態調査を行うことで、JJTを取り入れた授業実践が、児童の「学びたい」という思いを叶えることにつながったかどうか、また、最上位目標に近付くことができたか、質問紙調査や実態調査によって検証する。

<調査内容>

- ・ 課題を自分で選んで取り組んだ結果、自分の「学びたい！」という思いを叶えることにつながりましたか。
- ・ 課題を自分で選んで計画し、取り組んだ結果、学習内容が理解できましたか。
- ・ 他の学習でも、課題を自分で選んで計画し、学習を進めていきたいと思いませんか。
- ・ 課題を自分で選んで計画し、学習を進める力は、将来に向けて役に立つと思いませんか。
- ・ 「JJT」に取り組んだ感想

### 3 推進の方法



※ 学習展開の作成方法について (後日提案)

※ まとめの作成方法について (後日提案)